



九戸城跡にお立ち寄り下さい

ガイドの時間

11月末までの土・日・祝日
午前10時～午後3時

われら仲間たち ⑤

九戸城ボランティア ガイドの会

4年目を迎えた九戸城ボランティアガイドの会（細沼彰良代表）は、九戸城跡を訪れた方々に「心をこめて国指定九戸城跡を分かりやすく紹介」しています。細沼代表は「昨年から市内・県内のお客さんが増えている。九戸城に対する関心が高まっているからだと思う。今年もお客さんが求めていることに対応したガイドを心がけたい」と話します。



舌崎地区のリンゴの古木と説明板

市内には120カ所の宝の説明板が立っています。多くは栗の木の角材と赤みを帯びた仁左平石を使ったものです。〈写真参照〉巨木や花の群落、史跡などを案内しているものもあるため、めったに人の通らない場所で偶然出会って「よくまあ、こんなところに立てた」と感心させられることがあります。

人通りまばらな場所でも草が刈られて、花が植えらるなど宝の周辺が整備されているところがあります。春の宝めぐりで訪問した大平地区では、さりげなく「ミズバショウ」「ポプラ」「桂清水」と3つの宝が楽しめる小道ができていました。「こんなところがあるなんて」と初めて見る人が驚く谷地地区の「谷

地大滝」にも、四季の花が植えられて、より景色を楽しんでもらおうとする心遣いを感じさせます。「平成16年度二戸市まちづくり賞」が贈られた金田一地区の「舟沢の観音」は、その後も登拝路復活の努力が重ねられて、十二曲りの苦勞を感じさせない道ができています。次々に現れる案内や植栽に、整備を続ける人のやさしさとひたむきさがにじみます。

こうした周辺の人たちに大切に守られた「宝」に出会う時、二戸の心豊かな生き方に触れたような思いがして感動が広がります。あなたの地域の「宝」は守られていますか。

『宝』を守る人たち

三浦哲郎文学を読む会

第6回：「ユタとふしぎな仲間たち」
日 時：6月11日（日）午後2時～4時
場 所：ゆのはな交流館（金田一字湯田）

まちづくり相談会（毎月15日）

▷期日 6月15日 ▷受付 午後3時～7時 ▷場所 シビックセンター
▷相談分野 宝を生かした地域づくり、まちづくりの夢実現、課題など ▷担当 まちづくり推進課

この欄のお問い合わせ 市まちづくり推進課（☎25-5411 シビックセンター内）